

町民の声



「仕組み作り」

金山小学校 PTA会長

栗田伸一さん
(上中田 45歳)

2022年4月1日から仕組みが変わる事があります。民法の改正により成年年齢が18歳になるそうです。高校3年生が突然大人になります。慣れるまで時間がかかりそうです。同じタイミングで、金山町では小学校が統合され1つになります。その日から小学校、中学校が町に1つとなり、施設の使い方や人の動きなどにも大きな変化が起こると予想されます。

さて「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」と企業理念に掲げる会社があります。その通りだなと感じる場面は多く、介護保険しかり、子どもの放課後支援しかり、先生の働き方改革しかり。わが町でも、今まさに世界を良くする為に仕組みを変えようとしていることは、結構あるものです。

統合に伴うことと言えば、金山小学校PTA組織の再編もその一つです。議論を交わす中で、PTAという組織を無くしたという学校についても学ぶ事がありました。多くの人にとって、PTAの仕事は苦痛で、できれば関わりたくないことで共通していて、そうで

あるならばいっそのこと、PTA組織は無くても良いという選択をした人達がいたという訳です。そんな中で、こんなスローガンの組織を見つけました。

やってもいいとおもったひとが

やってもいいとおもったことを

やってもいいとおもったときに

とても現代的です。PTAという組織が70年以上も続いて来た理由は、やらねばならないという強い志を持つ人達に支えられて来たからなのだと思います。強い志を持つ人達だけの組織は、スピードと推進力を持ちます。ならば、学校現場の保護者による支援は、PTA組織ではなく、やりたいと思う人が行う。実は理想的な仕組みだなと感じたところです。

2022年4月1日、金山町が大きく変わる転換期となります。今までのPTA組織に疑問を持っていた人が、手を挙げ変化を起こしてくれることを期待しています。もちろん、私も手を挙げる1人です。子どもの将来をより良いものにする仕組みを作りたいので。



新たな歴史を刻む金山小学校

議会 新豆知識 No.10

●議員の兼職・兼業の禁止

普通地方公共団体の議会議員は、一般的には他の職業との兼職を禁止されていないが、国会議員、地方公共団体の議員及び常勤の職員等との兼職については、議員の職務を完全に果たすために妨げになると考えられているため、禁止されている。(兼職の禁止…地方自治法第92条)

また、普通地方公共団体の議会議員は、当該団体の具体的な請負契約の締結に対する議決等に参加することにより、直接・間接に当該団体の事務や事業に関与するものであるため、議会運営の公正性及び事務執行の適正性を確保するため、当該団体との関係において、請負関係に立つことを禁止されている。(兼業の禁止…地方自治法第92条の2)

12月議会定例会は12月7日(火)～10日(金)の予定です

町民の皆様のお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

ゼインコラム No.10

毎年やって来る「○○の秋」。秋は楽しみが多い季節。長引くコロナ禍による生活環境の変化で、不安やストレスは募るばかり。そんな状況を背景に、心に癒しをもたらす「メンタル本」を手にする。人間の持つ無限の可能性や能力について表現されていた。パンデミックの中で開催を遂げられたことに意義があった。東東京パラ大会。共生社会を生み出す努力が最も花開いた。新総裁誕生にて道筋が示され、より一層共生社会が発展することを期待する。

(文責・大場 洋介)

発行責任者

■ 議会議長

矢口 政一

議会広報常任委員会

■ 委員長
■ 副委員長
■ 委員

沼澤 道也
星川 智子
寒河江 宏一

中村 忠行
大場 洋介